



1 実証授業までの見通し

実証授業まで	日程	内容		
		授業	学習資料	発表
あと2回	10月27日(金) 港区立港南小学校 18:30	<ul style="list-style-type: none"> ・実証授業資料推敲、修正 ・授業の詳細検討・確認 		<ul style="list-style-type: none"> ・発表原稿推敲、修正
		実証授業配布資料 すべての原稿 完成		
あと1回	11月2日(木) 品川区立品川学園	<ul style="list-style-type: none"> ・実証授業資料最終確認 ・印刷 ・協議会対策 		<ul style="list-style-type: none"> ・PPT最終チェック
11月7日(火)	実証授業			

2 実証授業までの授業予定

第1時：10月30日(月) 6時間目 ※ 小林先生来校予定

第2時：11月1日(水) 2時間目 ※ ビデオで撮影 2日の部会で確認

3 事前授業②について

葛城先生から、第3時、第4時の実践報告をお願いいたします。

4 実証授業配布資料のプロットについて

内容	ページ数	担当	作成の留意点等	完成 チェック
表紙	1	長谷川		
I 研究の構想				
1 研究主題	4	長谷川	夏季合研で示した内容をもとに、夏以降の協議で変わった点について修正し、作成する。研究主題・主題設定の理由・視点・構想図は小体研全体のものをそのまま使う。	
2 主題設定の理由				
3 研究の視点				
4 研究の全体構想図				
5 研究内容(概要)				
(1) 研究の視点1について				
(2) 研究の視点2について				
(3) 研究の視点3について				
(4) 研究主題に迫る手立てについて				
II 研究内容				
1 三つの資質・能力の具体的な学習状況				
(1) 中学年「高跳び」における具体的な児童の学習状況	1	長谷川	夏季合研で示した内容をもとに、夏以降の協議で変わった点について修正し、作成する。「知・技」「思・判・表」は3年と4年で分ける。「学・人」だけは2年間通す。	

(2) 学習活動で導き出したい児童の具体的な姿	8	授業班 吉本	(1)の内容を子供の動きや声、思考をより具体的に、授業の中で導き出したい理想的な内容にして示す。 昨年度までの「課題解決的な学習の流れ」にかわるもの。 以降の具体的な手立ては、この姿を導き出すために講じているものとする、提案の進め方が研究主題や今年度の視点とずれないと考える。
2 陸上運動系の学習における三つの資質・能力を育むための手立て			
(1) 学習過程の工夫			
① 全体計画	2	長谷川	これまで示してきた内容をもとに、中学年の内容を若干修正して示す。修正が必要な部分は、中学年でも跳運動系は競争に向かないってことを入れて、全体の理論の整合性が取れるようにする。
② 中学年「高跳び」の学習過程	2	授業班 生重	多少簡易化した学習過程を3年・4年とも示し、どのような意図で構成されているのか、どの段階、どの時間でどのような指導をしていくのかなど、「学習活動で導き出したい児童の具体的な姿」となるための工夫を示す。
③ 一単位時間の流れ	1	授業班 菊池	運動→振り返り→運動→振り返りの流れについて説明や留意点について説明。 これも「学習活動で導き出したい児童の具体的な姿」となるための工夫を示す。
(2) 学習活動の開発			
① 中学年「高跳び」の技能分析	3	学資班 金井	クローズドスキルの陸上運動系領域部会としては、これが場づくりの根拠にならないといけないかなど。これまで検討してきた内容をまとめて、示す。
② 活動の内容		学資班	資料を持ち帰って実践可能になるよう、具体的に示す。内容だけでなく、設定の根拠も明確にしたい。学習過程と重なるが、「学習活動で導き出したい児童の具体的な姿」となるための手立てであることを意識して示していく。
(ア) リズムウォーミングアップ	2		
(イ) 運動の場	2		
(ウ) 高跳ビンゴ	2		
(エ) 高跳ビンゴカード	2		
3 学習指導案（授業班）			
(1) 単元名	2	授業班	学習指導案については、現行学習指導要領に沿って記載する。
(2) 単元の目標			
(3) 単元の評価規準			
(4) 児童の実態			
(5) 単元の指導と評価計画	2	授業班	指導内容や振り返りのポイントが明確になるように記載する。この2ページを見れば指導のイメージがもてたり、実際に指導できたりする内容が理想。
(6) 一単位時間の流れ（本時案）	1	授業班	ここまでくれば、コピーで作れるはず！
(7) 各時間の学習活動に即した評価規準と指導事項	4	授業班	具体的な授業イメージ「学習活動で導き出したい児童の具体的な姿」と整合性をもたせ、その姿を導き出すために必要な指導内容を具体的に示す。
4 ご指導いただいた先生方や部員の一覧 1			
部会 CM	1	伊東	

【部会での検討内容等】

資料の修正については、10月31日（火）19：30までにボックスへ提出。
担当副部長⇒部長の順にチェックし、取りまとめる。ページ数は全体で2ページ減るかも。

5 実証授業実施計画

現在の参加確定部員（15名） 10月30日 現在		
授業班	学習資料班	発表班
菊地・生重・小林	伊東・金井・田中・伊賀上・鈴木・新見	（伊東）葛城
福多・白根・篠山・古嶋		

これに+長谷川です。反省会は14名

（1）タイムテーブル

- 12:30 正副部長集合。学校への挨拶。授業会場と協議会場の準備・点検、授業者補助等。
（その他の先生も、可能でしたら早めに来ていただけるとありがたいです。）
- 13:00 部員集合
- 13:15 受付開始
- 13:45 研究授業（～14:30）
- 14:30 体育館会場準備。講師・来賓誘導、協議会準備最終確認、授業者補助等
- 14:50 研究協議会開始
- 14:50～ 挨拶（橋本会長、会場校長、港区体育部長等のご来賓からいただく。）
 - 14:57～ 来賓・講師紹介
 - 15:00～ 研究発表 15分
 - 15:15～ 授業者自評 5分
 - 15:20～ グループ協議 25分
 - 15:45～ 全体協議 25分
 - 16:10～ 指導講評 30分
 - 16:40～ 謝辞
- 16:45 閉会・事務連絡、片付け、講師、来賓、会場校への挨拶
- 17:30 反省会予定

（2）協議会について

【部会での検討内容等】

講師の小林先生から、三つの資質・能力に視点をあてるための協議方法についてご指導をいただいた。以下は、ご指導いただいた内容をもとに修正した協議会の進め方である。

この進め方については、小林指導主事・担当常任理事の先生方にご指導をいただいている最中である。

【協議会の視点】

- 新学習指導要領に示されている「三つの資質・能力」を、陸上運動系の特性や中学年「高跳び」の特性に合わせ、授業中の児童の姿として捉え直した具体的な学習状況の設定は適切であったか。
 - ・提案した児童の姿は、適切であり、授業の中で現われていた。
 - ・提案した児童の姿は、適切であったが、授業の中で現われていなかった。
 - ・提案した授業の姿は、設定に問題があった。
 - ・提案した授業の姿は、適切であったか判断できない。

【議会の進め方】

- ① 上の視点に基づいて授業を参観していただき、「協議会 個人シート」に記入していただく。
※ 選択した根拠も記入してもらおう。
- ② 4～5人の小グループに分かれ「グループ協議用シート」に全員の意見をまとめ、論点（意見の集まった内容を）を明らかにする。
- ③ 明らかになった論点について、なぜこのような児童の姿になったのか、根拠を明確にしながらグループで協議を行う。
- ④ グループ協議の内容を全体で取り上げ、成果や課題、疑問点について協議を行う。

※ 三つの資質・能力の具体的な学習状況について、よくてもわるくても、今回の授業では、なぜそうなったのかを、根拠を上げて協議してもらおう。

※ 全グループに部員が入ることはできないので、部員はグループ協議中に会場を回り、協議が進んでいないところのサポートに入る。

※ 手立てについては、主にアンケートに記入してもらい、研究のまとめに生かす。

※ シートの詳細やアンケートの内容は、別紙「協議会の視点_マトリクス_アンケート」参照。

【全体協議回答担当】

今回は、協議会の進め方の特性上、質疑・応答形式になりにくいことが予想される。しかし、グループ協議の内容を全体協議でシェアする際に、疑問点や説明が足りない点など、部としての考えを説明する必要があることは想定される。その際の分担は次のとおり。

「基礎研究について」⇒ 副部長

例：三つの資質・能力の内容・6年間の系統や単元の全体計画
陸上運動系としての主体的・協働的な学習について

など

「学習過程や授業に関することについて」⇒ 授業班

例：中学年「高跳び」における三つの資質・能力の内容・学習過程・一単位時間の流れ
評価について・4年生の学習方法・3年と4年の違い

など

「運動内容について」⇒ 学習資料班

例：高跳びの技能分析について・ウォーミングアップ・8の字跳び・高跳びビンゴ
4年生で扱う運動の方法について

など

※ 初めて行う協議会の形式ですので、何が起こるかわかりません！？臨機応変な対応をお願いいたします。

(3) 当日までの役割分担

○実施計画	長谷川
○講師対応	長谷川
○顧問校長先生との連絡	長谷川
○会場校との連絡調整 (来年度以降のために業務内容を記録しておく)	長谷川
○協議会企画	長谷川 (この文書に掲載)
○協議会次第作成	長谷川
○講師等席札・靴箱表示作成	長谷川
○校内掲示	小林
○協議会使用機器使用用具準備	小林
○アンケート作成	長谷川
○部会資料原稿とりまとめ (ページ決定、目次作成等)	伊東
○部会資料印刷 (300部)	全員
○部会資料用紙購入	生重 (長谷川)
○部会資料送付 (講師、顧問校長、指導主事)	長谷川
○発表原稿作成	発表班
○発表パワーポイント	発表班
○実態調査と形成的授業評価	長谷川
○事前授業動画撮影	生重?・港南小の先生方?
○事前授業写真撮影	生重?・港南小の先生方?
○反省会会場、2次会会場手配	港南小 ありがとうございます!
○反省会案内作成	港南小 ありがとうございます!

(4) 当日の役割分担

○講師・来賓接待	長谷川 (顧問校長先生)
○会場校連絡調整 (来年度以降のために業務内容を記録しておく)	正副部長
○受付準備、受付	() ()
○授業動画撮影	() ()
○授業写真撮影	() ()
○授業記録	() () () () () ()
○反省会人数調査 (常任理事)	長谷川
○協議会場責任者 (来年度以降のために業務内容を記録しておく)	菊地
○協議会場 ICT 責任者	伊東
○協議会総合司会	角田校長先生
○協議会講師・来賓紹介	佐々木校長先生
○協議会謝辞	若林校長先生
○協議会司会	長谷川
○協議会記録	篠山
○提案	発表班
○パワーポイント操作	白根
○マイク	新見

- 次回の部会日調整、連絡
- 反省会呼びかけ、反省会司会
- 反省会会計
- パソコン持ち込み

伊東、菊地
港南小 ありがとうございます！
港南小 ありがとうございます！
今年はなし！

5 各班での検討

実証授業資料・指導案完成間近！最後の詰め、がんばりましょう！いい提案しましょう！

6 その他

- 実証授業の出欠確認を反省会も含めて行っています。まだの方、お願いします。
- 実証授業の参観者を増やしていきたいです！お知り合いや後輩、各地区の体育部員へのお声かけをお願いします
- 必要に応じて、班ごとの部会を開くこともあるかもしれません。
- 些細な点は部会ではなく、ボックス上やメール上でやり取りしましょう。部会で確認すべき議題が多い ため、可能な限り質の高い提案を部会にもってこられるように取り組みましょう。
- 業務量に隔たりがあった場合は、助け合いましょう。

7 次回以降の予定と宿題の確認

11月2日（金）品川区立品川学園 できるだけ早くスタート。